

つま恋譲渡 HMIと交渉

ヤマハ、年内にも合意へ

中日 28.12.24

ヤマハは、完全子会社が運営し、二十五日に営業を終了する滞在型リゾート施設「ヤマハリゾートつま恋」(掛川市)の譲渡に向けて、ホテルマネージメントインターナショナル(HMI)ホテルグループ、神戸市)と交渉を進めていることが分かった。HMIは全国五十カ所以上でホテルや旅館を展開している。静岡県内では「グランドホテル浜松」や「ホテルクラウンパレス浜松」などを運営している。

ヤマハは、つま恋の売却に向けて複数の企業と交渉を進めてきた。掛川市からの要請もあり、分割ではなく一括譲渡で運営を続けられるかや、「つま恋」の名称を残せるかが課題となっていて、HMIと条件が折

り合えば、年内にも基本合意する見通しだ。二十六日にヤマハ関係者が掛川市役所を訪れ、松井三郎市長に状況報告する。つま恋は一九七四(昭和

四十九)年にホテルや音楽、スポーツ施設を備えた滞在型リゾート施設としてオープン。吉田拓郎さんや「かぐや姫」の野外コンサートが開かれ、フオークソ

グの聖地」として全国的に知られるようになった。二〇〇八年のリーマン・ショック以降は利用者が大きく落ち込み、ここ数年は赤字が続いて老朽化した設

備の更新が難しくなっていた。収益改善も見込めないことから九月二日に事業継続を断念すると発表し、売却先を探していた。

つま恋 HMI 譲渡へヤマハ

静岡
28.12.24

掛川市に26日説明

交渉合意期待

ヤマハリゾートつま恋（掛川市清水）の売却・譲渡に向け、ヤマハがホテルマネージメントインターナショナル（HMIホテルグループ）と詰めの協議を進めているのを受け、同市の松井三郎市長は23日、ヤマハから26日に状況の説明を受けることを明らかにした。

市によると、ヤマハ側から面会の申し入れがあった。地元では両社の交渉が早期合意へ達する期待が広がった。松井市長は「ヤマハから正式に連絡が入ったわけではない」と前

置きした上で、別の関係者からHMIが売却・譲渡先の有力候補になっている情報が寄せ

られていたと明かした。市はヤマハに対し、現在の形態での運営の継続▽分割譲渡はしない▽名称の存続の3点に配慮して交渉を進めるよう求めている。松井市長は「これらの要望に沿った形で合意がされればうれしい」と強調し、「週明けに

ヤマハが（市に）来られると聞いている。そこでいい情報を確認できれば」と述べた。

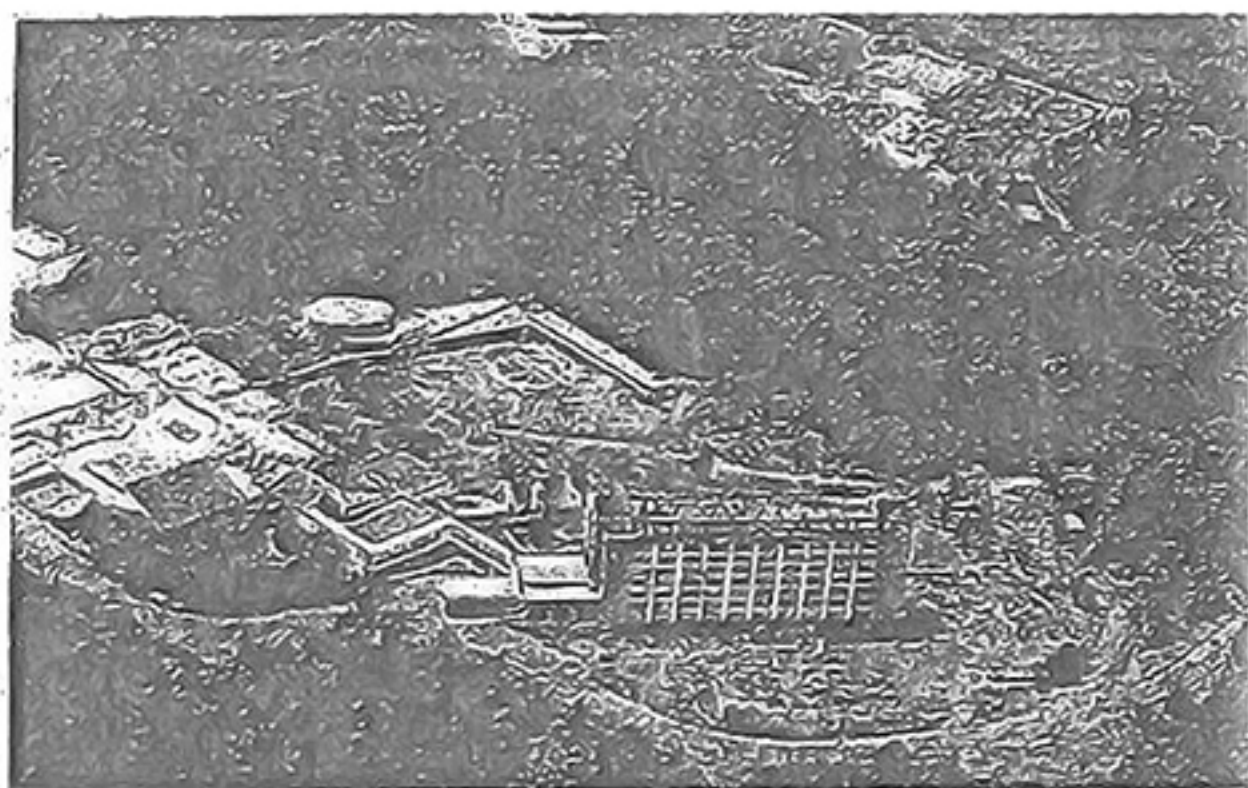
市と連名で要望書を出した市議会の竹嶋善彦議長は「市民が長い間身近に感じ、世界にも掛川を発信できた場所。まったく違ったものにならないように願っていたので、その方向で（交渉が）進んでくれれば」と話した。

つま恋を主会場とする来春の掛川・新茶マラソンは27日に開催可否の判断をする予定になっている。実行委員会委員長で市区長会連合会長の中村隆哉さんは「新茶マラソンのともじびを滑してはいけなう」と思ってい

た。継続できそうだと
いう望みが出てきた」
と受け止めた。

つま恋 譲渡交渉大詰め HMIホテルグループと

ヤマハ（浜松市中区）が、25日で一般営業を終了する掛川市のリゾート施設「つま恋」の譲渡に向けて、ホテルマネージメントインターナショナル（HMIホテルグループ、神戸市）を有力候補として詰めの交渉をしていることが分かった。ヤマハ幹部が23日、朝日新聞の取材に対し「年が変わるか変わらないかの頃に決着すると思う」と語った。



譲渡交渉が大詰めの「ヤマハリゾート つま恋」の掛川市満水、ヤマハ提供

HMIホテルグループは、営業不振のホテルを買い取り再生させる手法で業績を拡大。2008年に「かんぱの宿」売却の最終選考まで残り、09年に長崎県佐世保市の「ハウスステーション」の支援に名乗りを上げたことでも知られる。現在、全国で52のホテルや旅館を運営し、スポーツ・カルチャー施設も6カ所で展開する。浜松市内でも、JR浜松駅前の「ホテルクラウンパレス浜松」や、「グ

ランドホテル浜松」を手がけている。

「つま恋」は1974年に開設。会員制の滞在型リゾート施設として、ヤマハの100%子会社であるヤマハリゾートが運営してきた。140万平方メートルの敷地に、総客室数232室のホ

テルや音楽施設、スポーツ施設がある。

ポピュラーソングコンテスト（ポプコン）の本選会場として、数多くのミュージシャンが輩出。75年の吉田拓郎さんとかぐや姫のコンサートでは6万5千人が来場し、「フォークの聖地」として知られる。

だがここ数年、設備の老朽化に加え、消費者ニーズの二極化から数億円規模の赤字が続いた。2019年のラグビーのワールドカップや20年の東京五輪で事前

キャンプ誘致の期待もあるが、「このままでは、かえって失望させてしまう」（担当者）としていた。

水面下で様々な会社と交渉したが折り合わず、今年9月に営業終了を発表。予約済みの団体客は来年3月まで受け入れるが、一般営業は今年25日で終える。

ヤマハ幹部は23日、「HMIはこれまで以上に有力な候補」とした上で、「正式合意の連絡はまだ来ていないが、年が変わるか変わらないかの頃に決着するの

ではないか」と述べた。大きな不動産の譲渡が最大の課題だが、「つま恋」の名前を残すことや、希望する従業員の引き受けなども前提に交渉しているという。

また、例年4月につま恋を主会場に開かれる「掛川・新茶マラソン」に関し、「地元で迷惑をかけないようになりたい」と述べた。この件について、HMIは、「広報担当が休みでお答えできない」としている。（大島真視）

つま恋譲渡 HMIと交渉

ヤマハ、年内にも合意へ

ヤマハは、完全子会社が運営し、二十五日に営業を終了する滞在型リゾート施設「ヤマハリゾートつま恋」(掛川市)の譲渡に向けて、ホテルマネージメントインターナショナル(HMI)ホテルグループ、神戸

市)と交渉を進めていることが分かった。HMIは全国五十カ所以上でホテルや旅館を展開している。静岡県内では「グランドホテル浜松」や「ホテルクラウンパレス浜松」などを運営している。

ヤマハは、つま恋の売却に向けて複数の企業と交渉を進めてきた。掛川市からの要請もあり、分割ではなく一括譲渡で運営を続けられるかや、「つま恋」の名称を残せるかが課題となっており、HMIと条件が折

り合えば、年内にも基本合意する見通しだ。

二十六日にヤマハ関係者が掛川市役所を訪れ、松井三郎市長に状況報告する。

つま恋は一九七四(昭和

四十九)年にホテルや音楽、スポーツ施設を備えた滞在型リゾート施設としてオープン。吉田拓郎さんや「かぐや姫」の野外コンサートが開かれ、「フォークソ

ンの聖地」として全国的に知られるようになった。

二〇〇八年のリーマン・ショック以降は利用者が大きく落ち込み、ここ数年は赤字が続いて老朽化した設備の更新が難しくなっていた。収益改善も見込めないことから九月二日に事業継続を断念すると発表し、売却先を探していた。

グの聖地」として全国的に知られるようになった。二〇〇八年のリーマン・ショック以降は利用者が大きく落ち込み、ここ数年は赤字が続いて老朽化した設備の更新が難しくなっていた。収益改善も見込めないことから九月二日に事業継続を断念すると発表し、売却先を探していた。